

2017年12月22日

マツダ、新型「フレアワゴン」「フレアワゴン カスタムスタイル」を発表

—乗降性、快適性、安全性を大幅に向上、全機種「サポカーS・ワイド」に該当—

マツダ株式会社(以下、マツダ)は、『マツダ フレアワゴン』『マツダ フレアワゴン カスタムスタイル』を全面改良し、全国のマツダの販売店を通じて2018年2月8日より発売します。



フレアワゴン「HYBRID XS(2WD)」
2トーンルーフパッケージ/アップグレードパッケージ装着車



フレアワゴン カスタムスタイル「HYBRID XT(2WD)」

今回の全面改良では、『フレアワゴン』『フレアワゴン カスタムスタイル』の特徴である、広い室内空間、優れた乗降性と快適性を向上しながら、個性的なデザインや豊富なカラーバリエーション、安全性能の強化など、お客さまの多様なニーズに対応することに注力しました。

全高を高くするだけでなく、より広く、大きく見える工夫をしながら個性や遊び心を表現したデザイン、低床で開口を広くした乗り降りしやすい後席両側スライドドア、大きな荷物の出し入れをやすくした荷室など、軽ハイトワゴンとしての魅力を高めました。また、全機種に「マイルドハイブリッド」を搭載、JC08モード燃費 30.0km/L(「HYBRID XG」2WD 車)^{*1}を達成しています。

さらに、前進時の衝突回避・被害軽減をサポートする「デュアルセンサーブレーキサポート」に加えて、マツダの軽自動車ですべて初めて、後退時の衝突回避・被害軽減をサポートする機能を全機種に標準搭載するなど、安全性能を強化しました。新型『フレアワゴン』『フレアワゴン カスタムスタイル』は、全機種が経済産業省や国土交通省などが普及啓発を推進する「安全運転サポート車^{*2}」の「サポカーS・ワイド^{*3}」に該当しています。

■新型「フレアワゴン」「フレアワゴン カスタムスタイル」の概要は以下の通り

デザイン

(フレアワゴン/フレアワゴン カスタムスタイル共通)

- ・ フードの高さを上げて、フロントガラスを立てて大きさを表現。ベルトラインを高くして、ボディの厚みを強調。
- ・ スーツケースをモチーフとした水平ラインをボディサイド上下や助手席インストルメントパネルに施して、遊び心を演出。
- ・ ボディカラーは、新色「オフブルーメタリック」「チアフルピンクメタリック」「ブレイブカーキパール」の3色を含む、全9色^{*4}を設定。

(フレアワゴン)

- ・ スーツケースのバックルやジッパーをモチーフとしたフロントグリルで、楽しさや広がり感を表現。
- ・ ボディカラー「オフブルーメタリック」または「チアフルピンクメタリック」に、ホワイトルーフを組み合わせた「2トーンルーフパッケージ」を「HYBRID XS」に設定。
- ・ ブラック基調にアイボリーのインストルメントパネル、アクセントに赤を使用したインテリア。「HYBRID XS」の「2トーンルーフパッケージ」装着車は、ベージュ内装を採用。

(フレアワゴン カスタムスタイル)

- ・ 大型フロントメッキグリルや LED ヘッドランプ・フロントフォグランプを採用、カスタムスタイルらしい、迫力と存在感を表現したフロントフェイス。
- ・ ブラックパールやメッキパーツを施した、上質さと精悍さを表現したブラック基調のインテリア。
- ・ ボディカラー「ピュアホワイトパール」にブラックルーフを組み合わせた特別塗装色「ピュアホワイトパール 2トーンカラー(ブラックルーフ)」を「HYBRID XS」「HYBRID XT」に設定。

乗降性、快適性

- ・ 先代モデルより、スライドドアの開口幅と開口高を拡大して、後席の乗降性を向上。
- ・ 先代モデルより、荷室開口地上高は低く、荷室開口高は高くして、大きな荷物の出し入れのしやすさを向上。
- ・ 後席シート格納方法に、軽い力で楽に操作できるワンタッチダブルフォールディング式を採用。
- ・ 荷室側からシートスライド操作が可能な、リアシートスライドストラップを標準装備(「HYBRID XG」除く)。
- ・ 新プラットフォームの採用や、先代モデルより室内高、室内幅を拡大したことにより、居住性を向上。
- ・ 車室内の空気を循環させて前後席の温度差を軽減するスリムサーキュレーターを標準装備(「HYBRID XG」「カスタムスタイル HYBRID XG」除く)。
- ・ スマートフォンなどを AC 電源ケーブルで充電しながら収納できる後席右側アクセサリースocket、直射日光を遮るロールサンシェードを標準装備(「HYBRID XG」除く)。

安全性

- ・ マツダの軽自動車初、リアバンパーに内蔵した 4 つの超音波センサーで車両後方の障害物を検知し、自動でブレーキをかけて後退時の衝突回避・被害軽減をサポートする「後退時ブレーキサポート」、シフトの入れ間違いによる衝突回避・被害軽減をサポートする「誤発進抑制機能[後退時]」、ブザー音で障害物への接近をドライバーに知らせる「リアパーキングセンサー」を全機種に搭載。
- ・ 単眼カメラと赤外線レーザーレーダーを組み合わせ、前方の車両や歩行者を検知し、万一の危険を察知した際はブレーキによって前進時の衝突回避・被害軽減をサポートする「デュアルセンサーブレーキサポート」、「誤発進抑制機能[前進時]」、ヘッドランプのハイ/ローを自動で切り替える「ハイビームアシスト機能」、「車線逸脱警報機能」を標準搭載。全機種「安全運転サポート車^{※2}」の「サポカーS・ワイド^{※3}」に該当。
- ・ SRS エアバッグシステム 運転席&助手席に加えて、SRS エアバッグシステム フロントサイドを標準装備。
- ・ 助手席ドア付近の死角減少に貢献するサイドアンダーミラーを標準装備。
- ・ 後方視界支援ミラーを標準装備(「HYBRID XG」除く)。

低燃費

- ・ 減速時のエネルギーを利用して発電・充電し、その電力を活用してモーターによるクリープ走行^{※5}や加速時のエンジンアシストを可能にする「マイルドハイブリッド」を搭載。
- ・ マイルドハイブリッドに加えて、軽量・高剛性の新プラットフォーム、ボディ、サスペンション、新 CVT の採用などで、JC08 モード燃費 30.0km/L(「HYBRID XG」2WD 車)^{※1}を実現。

■新型「フレアワゴン」「フレアワゴン カスタムスタイル」のメーカー希望小売価格(消費税込)は以下のとおり

(※写真掲載のモデル)

機種名	エンジン	駆動	変速機	メーカー希望 小売価格 (消費税込)	JC08 モード 燃費(km/L) ※1	減税レベル※6 (取得税/重量税)		
HYBRID XG	660 DOHC VVT	2WD	CVT	1,333,800 円	30.0	60% / 75%		
		フルタイム 4WD		1,454,760 円	26.4	40% / 50%		
HYBRID XS		2WD※		1,468,800 円	28.2	40% / 50%		
		フルタイム 4WD		1,589,760 円	26.4	40% / 50%		
カスタムスタイル HYBRID XG		2WD		1,576,800 円	28.2	40% / 50%		
		フルタイム 4WD		1,697,760 円	26.4	40% / 50%		
カスタムスタイル HYBRID XS		2WD		1,690,200 円	28.2	40% / 50%		
		フルタイム 4WD		1,811,160 円	26.4	40% / 50%		
カスタムスタイル HYBRID XT		660 DOHC VVT ターボ		2WD※	CVT 7速マニュアル モード付	1,787,400 円	25.6	20% / 25%
				フルタイム 4WD		1,908,360 円	24.0	20% / 25%

ー上記メーカー希望小売価格に加えて、購入時にリサイクル料金 10,060 円が別途必要。

ーフレアワゴン「HYBRID XS」の2トーンルーフパッケージ(スベリアホワイト塗装ルーフ&ドアミラー、ルーフレール、ベージュ内装)装着車は 64,800 円高(税込)。

ーフレアワゴン「HYBRID XS」のアップグレードパッケージ(LED ヘッドランプ、LED ポジションランプ、LED サイドターンランプ付ドアミラー、14 インチアルミホイール)装着車は 75,600 円高(税込)。

ー特別塗装色「ピュアホワイトパール」「スチールシルバーメタリック」「ムーンライトバイオレットパールメタリック」「ブレイブカーキパール」選択時は 21,600 円(税込)高、「ピュアホワイトパール 2 トーンカラー(ブラックルーフ)」選択時は 64,800 円(税込)高。

以 上

※1 国土交通省審査値。燃料消費率は定められた試験条件での値です。

お客さまの使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用時等)に応じて燃料消費率は異なります。

※2 高齢運転者を含めたすべての自動車運転者による交通事故の発生防止・被害軽減対策の一環として、自動ブレーキなどの先進安全技術を活用した一定の運転支援機能を備えた車。略称「サポカー」。

※3 安全運転サポート車のうち、ペダル踏み間違い時加速抑制装置などを搭載することで特に高齢運転者に推奨される、「セーフティ・サポートカーS(サポカーS)」の区分のひとつ。「サポカーS・ワイド」は、自動ブレーキ(対歩行者)、ペダル踏み間違い時加速抑制装置、車線逸脱警報、先進ライトを装備したクルマ。以下、ご参考。

<https://www.safety-support-car.go.jp/>

※4 機種により選択できるボディカラーは異なります。

※5 1 回のモーターによるクリープ走行は、最長 10 秒間。

※6 環境対応車普及促進税制による減税措置。取得税減税は平成 30 年 3 月 31 日新車届出まで、重量税減税は平成 30 年 4 月 30 日新車届出まで。